東京とシンガポールの諸課題の比較による調査研究

「～持続可能な社会を実現する新都市構築に向けた提言～」

【課題学習の趣旨】

　高度経済成長期に発展してきた東京は都市機能維持の面で様々問題を抱えるようになってきています。例えば道路やライフラインの老朽化問題は顕著な例です。また戦後急速に整備された各種公共施設や道路網などは戦後70年近くの歴史を経て、すでに現在の都市には適合しない面が指摘されています。しかし、現在の東京は改築などのために一時待避や移転を行うといった余裕を有しておらず、また実施できたとしても、地域住民への配慮など対応すべき課題は多いのが現状です。

　一方、東京と同様に限られた土地を有効に活用せざるを得ないシンガポールでは、その時代のニーズに合わせ大胆かつ効率的な都市計画を立案し、それに基づき躊躇なく構築してきています。これにより大きく発展を遂げた都市計画は世界からも注目を集めています。

　周知の通り、我が国は2020年に2度目のオリンピックを開催することとなりました。このオリンピックを契機とし、新時代へと連なる若い世代だからこそできる斬新で創造的な発想に基づき、東京とシンガポールの学生が共に協力し、持続可能な新時代の都市社会を構築するための提言を行うことを当プログラムでは目指します。